

2021年度



# せと・しごと塾 第13期総括

せと・しごと塾は、瀬戸市が運営する地域の創業支援事業です。瀬戸市役所・瀬戸商工会議所・瀬戸信用金庫をはじめ、公的機関、大学、地元企業、卒塾生等が一体となって塾生のみなさまの創業を継続的に支援します。

## 目次



瀬戸商工会議所

瀬戸信用金庫

1. せと・しごと塾の目的について
2. せと・しごと塾のカリキュラム
3. 創業サポート講師陣
4. 個別相談について
5. 卒塾生の動向(塾の実績)
6. 13期生の受講後の感想
7. 新たな取り組みと課題
8. 最後に
9. 参考情報

NGU  
Culture & Human Resources  
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY  
名古屋学院大学

JFC 日本政策金融公庫

AICHI GUARANTEE  
愛知県信用保証協会



# 1. せと・しごと塾の目的について

～地域経済の発展のために～



「色々な事を考えているだけではなく、  
スタートする力が出来た。」

(卒塾生アンケートより)

せと・しごと塾は、平成20年度の開講以来13期の間、次のような理念のもと、運営されています。

地域のニーズや課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業を目指す市民のみなさんに、地域ビジネスを創業するために必要となる知識等を学べる機会を提供することで、就業の1つである起業が創出される環境づくりを図り、地域経済の発展につなげること

- ①「地域のニーズや課題をビジネスとして」…地元の問題を探し、解決方法を考える
- ②「継続的に取り組む」…持続するための思い、継続させる力を養成する
- ③「知識等を学べる機会を提供」…カリキュラム+個別相談で、その機会を提供する
- ④「起業が創出される環境づくり」…課題に対して前向きな行動を生む風土にする

## ◆せと・しごと塾の3つのキーワード

**自立**

- ・安易に他者依存しない
- ・自ら積極的に考え、行動する
- ・課題解決を主体的に考える

**挑戦**

- ・新しい挑戦をする
- ・苦手なことに敢えて取り組む
- ・与えられた環境の中でベストを尽くす

**貢献**

- ・周囲への貢献、社会への貢献
- ・他の塾生への貢献
- ・お客様への貢献

せと・しごと塾においては、起業を志す一人ひとりが**主体的に**課題を発見し、その解決に向けて**行動**し、その結果地域貢献にもつながるという理想を追い求めています。第13期も引き続き上記の理念を実現するために起業家の「**自立**」「**挑戦**」「**貢献**(地域・周囲へ)」を強く意識して、塾の運営をしてきました。このような意識を持つ起業家を多く輩出すれば、活気のある街が形成されると考えます。



## 2. せと・しごと塾のカリキュラム

～地域の中で、集団で学び合う意味～



「ここで出会った皆様、習ったことはすべて私の  
かけがえのない財産になります。ありがとうございました!」

(卒塾生アンケートより)

### (1) バリエティに富んだカリキュラム

塾では、起業家を支援するために、個別相談に加えて、バリエティに富んだカリキュラムを用意しています。第13期に実施した内容は、以下の通りです。

<前半>

日程	曜日	時間	講師	内容
7月2日	金	13:00 ~ 13:30	開講式	
		13:45 ~ 14:15	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	名刺交換のコツ
		14:30 ~ 16:30	さわ経営研究室 代表 澤 芳美	起業家の心構え
7月8日	木	10:30 ~ 11:15	事務局	オリエンテーション
		11:30 ~ 12:00	名古屋学院大学 現代社会学科教授 小林甲一	せと・しごと塾について
		13:00 ~ 16:00	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	創業に向けて 起業家スキルUP講座
7月15日 (オンライン)	木	13:00 ~ 14:00	日本政策金融公庫	創業者の実態
		14:15 ~ 15:15	愛知県信用保証協会	事業計画作成のポイント
7月20日	火	13:00 ~ 17:00	JUNO 代表 柴田朋子	プロモーション、販売戦略
7月29日	木	13:00 ~ 16:00	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	プレゼンテーション講座
		16:15 ~ 17:15	カラータクト・ブランディング(株) 代表取締役社長 中根かつみ	先輩起業家の話
8月5日	木	13:00 ~ 15:00	ひねもすデザインルーム 代表 石川さち江	販促ツール作り方講座
8月17日	火	13:00 ~ 16:00	石川一志 (東海税理士会尾張瀬戸支部)	開業手続き、税務、経理知識

前半は、創業のアウトラインをつかむためのメニューです。講師9名と事務局が塾生のみなさまを強力にサポートします。

\*第13期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、「事業概要発表会」以降の予定が10月以降に延期されてしまいました。



## 2. せと・しごと塾のカリキュラム(2)

～地域の中で、集団で学び合う意味～



「グループワークなど、他の塾生さんと交わって意見交換出来たのも新しい発見ができてよかった。」

(卒塾生アンケートより)

<後半>

日程	曜日	時間		講師	内容
10月18日	月	14:00	～	16:30	事業概要発表会
10月28日	木	10:00	～	16:00	事業計画作成知識① 経営理念・事業領域・マーケティング
11月4日	木				事業計画作成知識② 資金計画、損益計画 グループワーク①
11月11日	木				グループワーク②
11月18日	木				グループワーク③、発表、振り返り
11月24日	水	13:00	～	14:00	瀬戸商工会議所 税務・経理の実務講座
		14:15	～	17:15	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄 地域を深く知るための 商圈分析講座
12月13日	月	10:30	～	15:30	事業計画発表会
		16:00	～	16:30	卒塾式

後半から、事業概要発表会、グループワークが始まりました。座学で得た情報をアウトプットする場でもあります。グループワークの中でも、たびたびプレゼンテーションの場が用意されています。発表のための準備もすることになります。塾生のみなさんが互いに発表し合うことにより、自分の足りないこと、優れていることを発見できる機会にしています。他者の発表を聞くことにより、刺激を受けることはとても重要です。

### (2) 個人相談

年度内に個人相談日を42日(186時間)設定し、経営やキャリアプラン等に関して個別相談を受ける体制を整備しています(担当:小坂英雄・・・30日、150時間/柴田朋子・・・12日、36時間)。

また、相談日のほか、瀬戸市ものづくり商業振興課、せとまちツクリテセンター、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫など、事務局に対し随時事業に関する相談が寄せられています。



### 3. 創業サポート講師陣(1)



「初日の小坂先生の名刺交換のコツや澤先生の起業家の心構えのお話は一生懸命聞き入っていたように思います。」

(卒塾生アンケートより)

せと・しごと塾では、多彩なメンバーがチームを組んで塾生を支援しています。入塾審査の時点から支援方針を共有し、それぞれのメンバーが異なる手法で塾生を支援しています。このサポートチームの存在により、塾生それぞれの事業に対して、様々な観点でアドバイスすることを可能にしています。以下、第13期のサポートメンバーを紹介します(敬称略)。

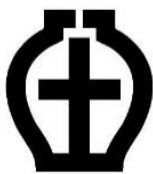
#### (1) 事務局(瀬戸市地域振興部ものづくり商業振興課、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫)

瀬戸市が塾の運営全般を担当します。カリキュラムの運営、事務連絡に加え、塾生の相談のナビゲート役となっています。

瀬戸商工会議所は、税務・経理の実務講座を担当。卒塾後も塾生を支援。税務やIT活用などの各種セミナーや、税務・経営等の個別相談を行っており、スタートアップをスムーズにさせるための数多くの取り組みを行っています。最近では、小規模企業に人気の「小規模事業者持続化補助金」など、創業後に利用できる補助金申請に必要な事業計画の作成支援でも力を発揮しています。

瀬戸信用金庫は、事業概要発表会後の4回の「事業計画書作成」講座を担当。講座での事業計画作成グループワークを通じ、塾生のみなさんがお互いに打ち解け合います。

卒塾後も事業計画書の作成や資金調達面の相談に乗っています。卒塾生専用の融資制度も用意しています。



瀬戸市



瀬戸商工会議所



瀬戸信用金庫

#### (2) 塾長(有限会社起業経営研究所 小坂 英雄)

個別相談と起業家スキルUP講座、プレゼンテーション講座などを担当。塾生の情報が多く集まるので、できるだけ共有するようにしています。相談事項は、カルテに残しておきます。基本的にどのような相談でもお受けしています。「知識を与える」ことを主眼に置くのではなく、なるべく「行動を促す」ようにアドバイスをするよう心がけています。



(小坂 英雄)



### 3. 創業サポート講師陣(2)



「先生ごとに個性があって、どの講義もとても興味深かった。」

(卒塾生アンケートより)

#### (3) 講師陣

①さわ経営研究室 代表 澤 芳美

「起業家の心構え」の講座を担当

②税理士法人ちゅうぶ税経 代表社員 石川 一志

「開業手続き、税務・経理知識」の講座を担当

③JUNO 代表 柴田 朋子

個別相談と「プロモーション、販売戦略」の講座を担当

④ひねもすデザインルーム 代表 石川さち江

「販促ツール作り方講座」を担当(卒塾生)

⑤日本政策金融公庫

「創業者の実態」の講座を担当

⑥愛知県信用保証協会

「事業計画作成のポイント」の講座を担当



(澤 芳美)



(石川 一志)



(柴田 朋子)



(石川 さち江)



(小林 甲一)

(4) 顧問(名古屋学院大学 現代社会学部 小林 甲一)

塾のプランニング、「せと・しごと塾について」講義を担当。随時塾生に有用な情報を提供しています。

#### (5) 塾生

塾生同士の交流が塾を支え、「元気で明るい場所」を形成しています。入塾時は偶然集まって面識のないみなさまですが、半年弱肌を並べることにより、徐々に居心地の良い空間を作っていきます。アンケート結果を見ても、この偶然の出会いが財産となったとコメントする方が多く見られます。



(グループワークの様子)



(ワーク「アイデア出し」の様子)



## 4. 個別相談について(1)



「個人相談も利用しながら起業できる様に頑張ります。これからも宜しくお願い致します。」

(卒塾生アンケートより)

### (1) 相談のスタンス

起業はあくまで手段です。生活を作りたい人もいれば、趣味の延長線上で起業を考える人もいます。まずは塾生の悩みをじっくり聴き、それぞれの価値観を尊重してアドバイスをします。型にはめて「こうするべき」などと、私の考え方を押しつけないように意識してきました。必ずしも起業することが良いとは限りません。

時には、あえて答えを出さずに、自分で行動してもらうことを促すようにしています。安易に答えを提供してしまうと依存心が育ってしまい、考えなくなってしまいます。状況にもよりますが、これは創業支援においては逆効果になりかねません。塾生が行動を促すような課題を多く出し、塾生は新しいことにチャレンジする機会が与えられます。新しいこと、できないことにまず挑戦しようという気持ちが大切です。課題をクリアしたときに、一歩前進したことを塾生自身が実感し、自信がつかます。そして次の挑戦へとつながっていきます。この成功体験の積み重ねが人を育て、瀬戸の「人づくり」につながると確信しています。

起業という側面で言えば、供給過剰の時代、商品・サービスの「売り」を持っていないと、塾生の事業は受け入れられません。「現在出来上がっているものをどのように受け入れてもらうか」だけではいけません。事業構想を練り直し、頭を柔らかくすることが重要です。既に開業している事業者であれば、経営のイノベーションが必要です。お客様の方を向いて、現在のものをどれだけブラッシュアップしていくかで事業の継続性が決まります。



卒塾式では市長より卒塾証書の授与が行われました。



## 4. 個別相談について(2)



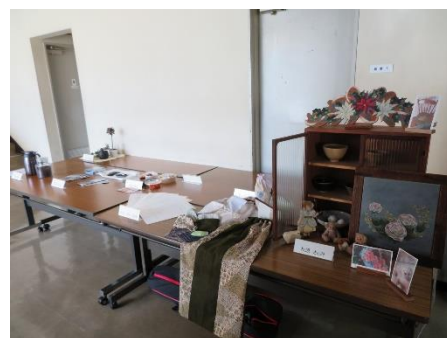
「わからないことや困ったときどこにどんな相談をすればよいのかわかったのもありがたいです。」

(卒塾生アンケートより)

### (2) 実際の相談内容

塾生の相談としては、以下のようなものがありました。

- ①事業計画書の作り方が分かりません。
- ②この価格設定でやっていけるでしょうか？
- ③今は低価格で提供しているが、本来の価格にするのが不安。
- ④この事業所の周辺の商圈分析をしたい。
- ⑤イベントのチラシを作ったのですが、見てもらえますか？
- ⑥どこにポスティングをすると効果的ですか？
- ⑦ホームページの作り方、かかる費用を教えてください。
- ⑧プレスリリースにトライしたい。方法を教えて欲しい。
- ⑨商品やサービス名の商標を取る必要はありますか？
- ⑩会社名、屋号のネーミングを考えたい。
- ⑪Facebook、InstagramなどのSNSを効果的に活用したい。
- ⑫会計や経理が全く分からないので不安です。
- ⑬株式会社か合同会社か個人事業か、どの組織形態にするか迷っている。
- ⑭契約をするのですが、相手から提示された契約書の意味が全く分かりません。
- ⑮融資を受けたいのですが、この計画で良いでしょうか？
- ⑯登録免許税減免の制度を利用したい(株式会社・合同会社設立)。
- ⑰創業の際の補助金はありますか？
- ⑱補助金に初めてトライしたいのですが、アドバイスをお願いします。



(発表会で塾生の取扱商品を紹介)

その他、多岐にわたる相談を受けています。起業に際しては、メンタル面のケアも重要です。生活が大きく変化する可能性があり、不安と恐怖の戦いになることもよくあります。大きな決断をする場合は、出来る限り判断材料を多く提供することを心がけています。みなさまに、後悔のない決断をしていただきたいと考えています。





## 5. 卒塾生の動向(塾の実績)



「いろんな事に、前向きに、セミナーなど  
受けてみたいと思うようになりました。」

(卒塾生アンケートより)

第13期は17名が卒塾、塾の開催期間中に起業した方、現在本格的に起業準備を進めている方、構想を練り直している方など、それぞれの道に進んでいます。

また、卒塾生も含めて、塾全体としては次のような成果がありました。

- (1) 温かいコミュニティの形成・・・塾生間の応援・励まし、コラボイベントの開催など
- (2) プレゼン効果・・・自分に自信を持つための準備、表現力の向上
- (3) グループワーク・・・塾生のコミュニケーションを深める大きな効果あり
- (4) 市、会議所、瀬戸信等の支援者との連携・・・各種セミナー等卒塾後の支援体制も充実
- (5) 外部セミナー積極参加・・・商工会議所等で情報収集を積極的にするよう促しています
- (6) 瀬戸市や行政に対する考えの変化・・・行政の取り組みの一端を知ってもらえました
- (7) 開業者・・・卒塾231名、うち開業者132名(1～13期累計、入塾時開業者含む)
- (8) 多くのマスコミ取材・・・中日新聞、GCTV、中部経済新聞、Radio SANQ 等
- (9) 塾生間の刺激・・・他者の挑戦に刺激を受けるという場面が多々見られました



事業概要発表会でのプレゼンテーションの様子  
念入りに準備をして、当日に臨みました。



## 5. 卒塾生の動向(塾の実績)

～数字で見るせと・しごと塾～

(参考)こちらも参考にご覧ください。

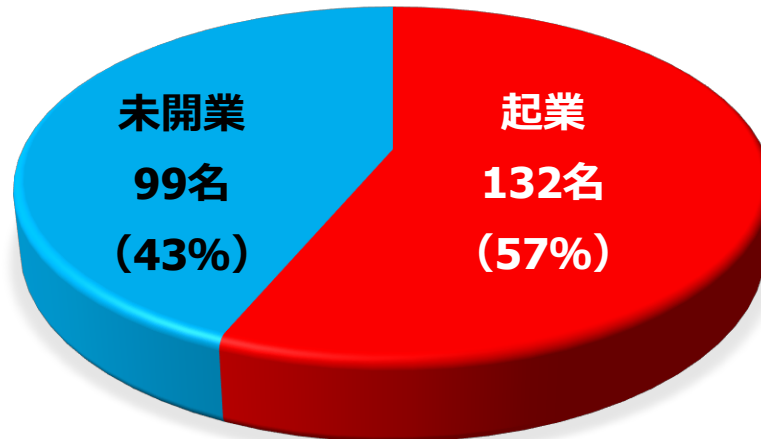
◇せと・しごと塾の紹介(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/seto-shigotojyuku/>

◇10周年記念冊子(卒塾生の事例を写真付きで掲載)

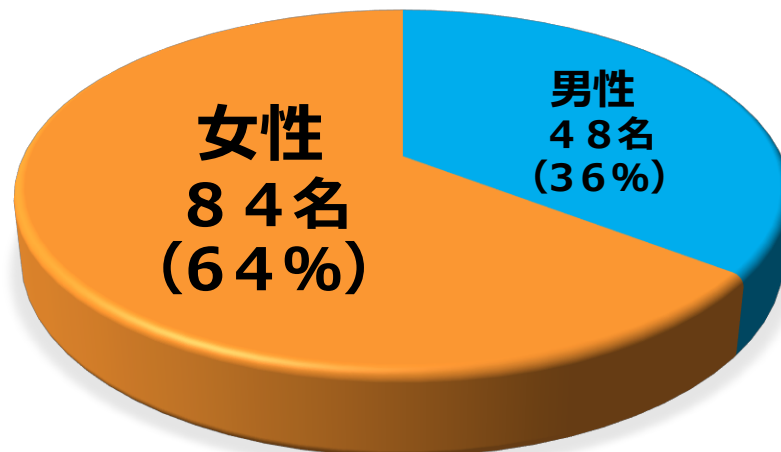
<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2018050700038/>

### ①起業割合



卒塾生231名のうち、起業した人は132名(57%)、未開業は99名(43%)です。

### ②起業者男女別割合



卒塾生のうち起業者については、女性が84名(64%)、男性が48名(36%)です。

<参考>全国の起業者は477万1千人で、男性は384万9千人(起業者に占める割合80.7%)、女性は92万2千人(同19.3%)となっており、男性が約8割となっています。

(平成29年総務省統計局「男女、従業上の地位・雇用形態別起業者数及び割合」)



## 6. 受講後の感想(1) (卒塾時アンケート)



「自分のやりたいことを言葉にして他の人に表現  
することができるようになったなんでもチャレンジ  
してみようという気持ちになれた。」

卒塾時に実施したアンケートを抜粋して、以下に掲載します。

塾生の挑戦の数々とその成果は数値化できるものばかりではありませんが、塾生の「自立」「挑戦」「貢献」を強く意識して運営している塾の成果として重要な要素と考えております。

<Q. 入塾して「できるようになったこと」「自分に変化が起きたこと」をなるべく多くご記入ください>  
(順不同、一部回答内容に重複あり)

- (1) 自分の想いや事業を言語化するクセがついた。
- (2) 「なんとなく」でなく、具体的なニーズや根拠に基づいて自分の事業を見つめられるようになった。
- (3) 「1人で」と思っていたが、中間の存在そして関係者の方々のおかげで、良い意味で気負いがなくなった。
- (4) 事業計画書の作成を通して、調査、準備がどれだけ必要で役立つことかよく理解できたと思います。
- (5) 関わりがなさそうな職種の方たちとも、何かしらどこかで繋がりができることも感じることができました。
- (6) セブンハットのアイデア出しができるようになった。
- (7) しごと塾の繋がりができたことがとても大きいです。
- (8) 先輩からお仕事をいただくことや、色々な活動に参加させていただくことも多いです。
- (9) いろいろな人と出会う事が出来、意見をもらうことで自分にはなかった世界が広がりました。
- (10) ITは苦手意識がありましたが Zoom を活用できるようになりました。
- (11) 発表作業は大学生以来で、精神的に結構追い詰められましたが、力を絞り出せばなんとかなるんだなあと少し自信が付きました。
- (12) 最初は、志を高く持っている受講生同期の方々と仲良くなれるか不安でしたが、話をするうちに皆を応援したいと思うようになりました。
- (13) いろいろと準備すること、法的に可能か調べることなどやらなくてはならないことが、見えるようになったことなど自分自身の中で変化は起きています。
- (14) 自分のやりたいことを言葉にして他の人に表現することができるようになった。なんでもチャレンジしてみようという気持ちになれた。
- (15) 事業をやるにはいかに自己アピールをうまくするか、その大切さと難しさを知ることができた。
- (16) 事業に対して深く考えられるようになり、当初の「何となく」が実際に形になった時にどうなのか、色々な気付きが出来たことが自分にとって良かったことです。
- (17) 融資や補助金関係に関する情報収集ができるようになりました。
- (18) 経営者になる自信が付いた気がします。



## 6. 受講後の感想(2) (卒塾時アンケート)



「しごと塾の仲間(同期・先輩方)がお互いに助け合う姿をみて、自分も、瀬戸や仲間に何が貢献できるか考えるようになった。」

(前ページ続き)

- (19) 塾の先生方、同期の皆様の応援と期待に裏切らないよう、頑張っ一人前の経営者になりたいです。
- (20) 自分が住んでいる瀬戸市の発展や地域のイベントなどもっと関心を持つようになりました。
- (21) 実際に「売る」という大変を多く体験し、自信ができました。
- (22) 人前で話すのが好きなんだな、と気づくことが出来ました。
- (23) いろいろな人が、いろいろな分野での参加なので興味深かった。
- (24) メンバーや関係者とのつながりができて、活動の一步が踏み出せました。
- (25) 瀬戸の町に愛着がわいてきました。(活動する人や自然や市の施策など)
- (26) パワーポイントとスプレッドシートが使えるようになりました。
- (27) 入塾前はなかなか市外に出向く視野がありませんでしたが、入塾して多治見や尾張旭のマルシェにもコンタクトを取り、参加することで行動力がついたと思います。
- (28) いろんな事に、前向きに、セミナーなど受けてみたいと思うようになりました。
- (29) 自分のイメージしていた事業(漠然としていたもの)を具体化させることができた。
- (30) 今まで「できたらいいな」という心持ちだったものが、具体的に事業を計画し、仲間と刺激し合う中で、「自分が責任を持って事業を行っていくのだ」という決心に変わった。
- (31) 瀬戸の起業仲間がたくさんできたので、瀬戸の暮らしがより楽しくなった。
- (32) しごと塾の仲間(同期・先輩方)がお互いに助け合う姿をみて、自分も、瀬戸や仲間に何が貢献できるか考えるようになった。
- (33) 事業計画書を書けるようになった。

せと・しごと塾では、カリキュラムを通じて、「自ら考え、動いてみよう」という行動を促しています。どんどん新しいことにチャレンジしていただくことで、少しずつ加速がついていくのではないのでしょうか。自分一人ではなく、仲間と一緒に考えることで、思考の幅も生まれます。一人では不可能だったことも実現していくでしょう。

アンケートでは、塾生の全員が体験することになる「事業計画作成」と「プレゼンテーション」が新たな経験となった方も多いことが分かります。人前で自分の事業計画を発表する経験を通じて、嬉しいことばかりでなく、落胆することもあったことでしょう。少し凹む経験も、今後のやる気につながっていくことを望みます。



## 6. 受講後の感想(3) (卒塾時アンケート)



「最初は聞いていても、実際にどう役に立つのか分からなかったのですが、回数を重ねる毎に講義の内容や自分に当てはめてどうすれば良いか考えられるようになりました。」

### Q.「せと・しごと塾」のカリキュラムはいかがでしたか？

(順不同、一部回答に重複あり)

- (1) 全体を通してとても良く考えられたカリキュラムだと感じた。既に起業されている方にとっては少し物足りない内容もあったかもしれないが、私のようにこれから具体化していきたい人にとっては多面的で興味深い講義ばかりだった。
- (2) 経費に関することやいろいろな制度があることなど、もっと早くに知っていれば活用できたかも、ということもありましたが、これから活用できる制度もあることがわかった。
- (3) わからないことや困ったときどこにどんな相談をすればよいのかわかったのもありがたいです。
- (4) グループワークもとても勉強になりました。
- (5) 小坂先生の講義の、セブンハットの考え方が大変勉強になりました。事業の設計の仕方、アイデア出しのフレームとして、すごく役に立ちます。今でも、困った時にセブンハットに物事を当てはめて考えることが多いです。
- (6) 事業計画を作るグループワークの時間は、グループの皆さんと深く話ができて親睦も深まり良かったです。
- (7) 同期の皆さんの意見でもやはり気になるのは、起業後の「販路確保・拡大」のように感じました。
- (8) 先輩達がどのようにして仕事を得ていったのか、実体験を聞く機会があれば良かったかなと思います。  
(なかなか他人に教えたくない部分ですし、自分で考えないといけないところかとは思いますが・・・)
- (9) 起業する為の覚悟を持って臨む志を学べたと思います。
- (10) 初日の小坂先生の名刺交換のコツや澤先生の起業家の心構えのお話は一生懸命聞き入っていたように思います。グループワークも楽しかったです。
- (11) 商工会議所の税務-経理の実務講座はもう少しじっくりと聞きたかったですね。
- (12) どの講義も、いい歳をして「学校」で発表するような緊張感を持って聞くことができました。
- (13) W石川先生も2回ずつ講義があったら良かったです。専門的な話をもっと聞きたかったです。
- (14) 先生ごとに個性があって、どの講義もとても興味深かった。
- (15) グループワークなど、他の塾生さんと交わって意見交換出来たのも新しい発見ができてよかった。
- (16) 販促ツールは私には勉強になりました。青色申告の話も、事業計画の大切さもわかりました。
- (17) 最初は聞いていても、実際にどう役に立つのか分からなかったのですが、回数を重ねる毎に講義の内容や自分に当てはめてどうすれば良いか考えられるようになりました。
- (18) すべてのカリキュラムは創業の為に知っておくべき基礎の座学だと思います。
- (19) 個人的に印象に残る座学は小坂先生の起業家のスキル UP 講座、澤先生の起業家の心構え講座、柴田先生のプロモーション、販売戦略講座、石川先生の税務-経理知識の講座と事業計画書作成の座学とグループワークです。
- (20) 塾生の皆さんとグループワークをしながら進めた座学はとても良かったです。



## 6. 受講後の感想(4) (卒塾時アンケート)



「事業計画作成のワークは大変ためになりました。  
塾生同士の交流にもなりました。」

- (21) 自分は法人で起業しようと思いましたが、あえて言わせていただければ法人で起業する手続きをもっと聞きたかったです。
- (22) 私は既に事業計画を作った段階での入塾でしたので、計画作成過程よりも商圏分析やPRの方法などを教えていただけたのが良かったです。
- (23) 帳簿のつけ方や申告の仕方をもっと聞きたかった。
- (24) 全部良かったです。全体的に総論っぽいので、発表会で何を求められているのかもわからず、個人相談ができるので、それはカバーできましたが、もう少し時間内に、グループワークや自分の計画と一緒に考える時間があるといいと思いました。
- (25) グループワークと名刺交換のコツ、澤先生のお話が良かったです。
- (26) 同業の卒塾生の方からお話が聞けたり、オンラインなどで質問できる機会があるとより良かったなと感じました。
- (27) 小坂塾長のお話は、ためにもなるし、気持ちを緩めて、前に進むことができました。
- (27) 広告宣伝、SNSの活用方法などをもっと詳しく、学びたいです。
- (28) 卒塾生の体験談を聞きたい。
- (29) 「起業家の心構え」澤先生の言葉は、起業に足を踏み入れるものとして、心に響くものばかりでした。
- (30) 事業計画作成のワークは大変ためになりました。塾生同士の交流にもなりました。
- (31) いくつかの講座をオンラインで実施いただいたのはありがたかったです。
- (32) 先輩起業家の話をオンラインでもいいので、多くの方(色々な業種・年代)の話を聴けると参考になりそう。

カリキュラムについては、毎年事務局内で「どのようにするのがベストか」を議論しながら検討しています。創業支援としてはかなり低予算で事業を組んでいるため(参加費も5,000円)、参加者によっては物足りなさを感じるかもしれません。創業を目指す方に必要なものは人それぞれ異なります。しごと塾で様々な講座を体験して、それを入口に世界を広げていただけたらと思います。

アンケートでは「先輩起業家の話を聴きたい」と複数コメントをいただきました。現在リアルの場でもオンラインでも、数多くの講演が実施されています。ぜひご自身で機会を見つけて、よき出会いを求めて頂きたいと考えます。(受け身ではなく、能動的に行動を起こしていくことを希望します。)



## 6. 受講後の感想(5) (卒塾時アンケート)



「自分が思っている事が事業化出来るのか、  
何から学んだら良いのかを悩んでいました。」

### Q. 入塾前にどんなことで悩んでいましたか？

(順不同、一部回答に重複あり)

- (1) 自分が形にしたい想いや事業にいまひとつ自信が持てなかった。
- (2) 何に悩んでいるか分からないほど、何から始めて良いのか分からなかった。
- (3) まずなにをしていいかわからずほぼ見切り発車状態で全てが不安でしかなかったと思います。
- (4) 瀬戸市の事業者との繋がりがなかったので、人脈作りで悩んでいました。
- (5) また、事業の売り上げも少なかったためそれも懸念でした。
- (6) 同期の方々と仲良くやれるのか？自分は講座に付いていけるのだろうか？といった不安はありました。
- (7) 直ぐに事業を始めるとは決めていないのに入塾してもいいのか？
- (8) 実際に自分に商売などができるのだろうか、ということと実務的なことを知らないこと。
- (9) 漠然と「こんなことが出来ないかな～」と思っていました。
- (10) 自分のお店を持つという夢に対して、どうすれば実現できるか、全く分からなかった。
- (11) 自分のやりたい事が自分自身ではっきりしていないのに大丈夫なのか不安でした。
- (12) 自分が思っている事が事業化出来るのか、何から学んだら良いのかを悩んでいました。
- (13) 起業に興味があるのに、起業の為に何を準備しておけばよいか？また資金の調達や税理関係について全く知識も人脈もなかったので一人で悩みを抱えた状態でした。
- (14) 瀬戸で起業した人、これから起業したい人とのつながりが希薄だったこと。
- (15) 事務、経理で悩んでいた。
- (16) 瀬戸に知人がほとんどいない状態で、起業してもうまくいくか心配。
- (17) 自分の考えを聴いてくれたりアドバイスをしてもらえたりする方々が少ないこと。
- (18) 集客とマーケティングのやり方と事業活動の方向性。
- (19) やりたいことがたくさんあり、計画書が書けなかった。(ダンス教室か、介護予防ダンスか、鍼灸師兼トレーナーの息子とのコラボか…?)
- (20) 事業計画書が書けない(どのフォーマットがいいかわからない、内容をどのように考え、どのように計画すればいいかわからない)

特に、「これからせと・しごと塾に入塾してみたい」という方の参考になると思い、総括に初めて掲載しました。様々な悩みを持っていたことが分かります。悩みを抱えずに、話し合える仲間や講師陣、事務局との出会いで気が楽になった方も多くいらっしゃいます。



## 6. 受講後の感想(6) (卒塾時アンケート)



「初めはこんな気持ちでいいのかなと思いつながら入塾し、えらいところにきてしまったというのが本音でした。」

Q. その他、ご自由にお書きください。

(順不同、一部回答に重複あり)

- (1) 半年間「せと・しごと塾」13期生として学ばせて頂いたこと、これから事業を形にしていく上で本当に大きな力になっていくと強く感じています。心から応援したいと思える仲間に出会えたことは、私の瀬戸での暮らしをより豊かにしてくれました。本当にありがとうございました。
- (2) 人見知りということもあって入塾はギリギリまで悩んでいましたし、最後まで続けられるかとても不安でしたが、相談をしたり、同期の方たちとの楽しい関わり合いや励まし合いがあったりして、続けることができました。オープンしてからもしごと塾関係の方々がたくさん買いに来て声をかけてくださったり、様々な形で応援してくださったり、大変感謝しています。
- (3) 今後、起業を考えている人が自分の周りにいたらしごと塾を勧めようと思っています。
- (4) 瀬戸市内でお会いする、今後起業する方にしごと塾をおすすめしています。
- (5) 運営を担当された皆様、コロナで調整が大変な中、講義を提供いただきありがとうございました!
- (6) この度は小木曾さんをはじめ瀬戸市役所の皆様、講師陣の先生方、瀬戸商工会議所様、瀬戸信用金庫様など、多くの方のご尽力のおかげで、楽しく勉強させて頂くことができました!
- (7) 瀬戸市以外ではなかなか行われていない企画であり、貴重な体験をさせて頂けたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
- (8) 初めはこんな気持ちでいいのかなと思いつながら入塾し、えらいところにきてしまったというのが本音でした。いろいろな人と出会い学ぶうちにどんどん楽しくなっていました。
- (9) しごと塾を通して知り合えた方々は私にとって宝物になりました。
- (10) 今すぐに起業するのは難しいと思いますが、やりたい事は明確に考えがまとまってきています。
- (11) まだまだ勉強は必要ですが夢に向かって頑張っていこうと思います。
- (12) しごと塾講師の先生方や運営に携わる方々に感謝致します。これからも是非続けてほしいと思います。
- (13) 中断していた期間に気が抜けてしまったので、モチベーションの維持が難しかったです。ということは、事業を維持していくときにも起こることなんだろうなと思いました。
- (14) 成功するノウハウなんてない、試行錯誤し悩んだ先に答えがあると、胃が痛くなるような真理を改めて再認識できたと思います。自分にとっての成功とは何かを考えさせられました。
- (15) 手続きや細かい書類作成など、困ったら商工会議所に駆け込もうと思えるのは心強いです。
- (16) コロナ禍で打ち上げ等、交流に制限があり残念でしたが、担当者様や先生方ともオフレコで座談会のようなものができたら良かったなあと思いました。ありがとうございました。





## 6. 受講後の感想(7) (卒塾時アンケート)



「自分の思いを勉強していくうちに当初思っていた事業とは違うことに気づき修正出来ました。」

(自由記述アンケート 続き)

(17) 短い間でしたがありがとうございました。コロナで開催時期が変更になったのが残念ですが、これからも塾が続きますよう願っています。

(18) 同じ起業という夢を持っている仲間と過ごすことができた半年間とても有意義でした。このような場に参加させていただき、ありがとうございました

(19) 入塾した頃よりも事業内容がまとまってきたと思います。クリアになった。

(20) 商品の幅が広がった。

(21) 自信がついた。

(22) SNS の大切さを知った。

(23) 色々な事を考えているだけではなく、スタートする力が出来た。

(24) 自分の思いを勉強していくうちに当初思っていた事業とは違うことに気づき修正出来ました。

(25) これからは学んだことと自分の実行力とタイミングだと思っています。

(26) 1年、1年近づく努力をしているうちに道が見えてくると思うので来年も頑張ります。

(27) 個人相談も利用しながら起業できる様に頑張ります。これからも宜しくお願い致します。

(28) せと・しごと塾第13期生の一員になれてとても誇りに思います。

(29) ここで出会った皆様、習ったことはすべて私のかげがえのない財産になります。ありがとうございました!

(30) 中断期間中も含め、半年間にわたって大変お世話になりました。

(31) 瀬戸で起業したいという人がいたら、真っ先にしごと塾をおすすめしています。(以前にセミナーでお会いした方に伝えたら興味を持っていただけました)

(32) 今後、益々のご発展をお祈りしています!また、卒塾生として協力できることがあれば喜んでやらせていただきます。今後もよろしくお願いします!

(33) 実務的な内容だと思って入ったが、少し違っていた。

(34) 同期生とも話が合わないような気がしていたが、回を重ねるうちに少し変わって、それぞれの業態と自分を重ねて見るようになった。

(35) 入塾していろいろな人と知り合えたのは目に見えた成果でした。

(36) 担当者の方々が皆親切で安心して学ぶことができ、感謝しています。

(37) 懇親会ができないのが残念でなりません(笑)

(38) 瀬戸市の事をもっと知って、いろいろな方々と連携して、私も楽しみながらお役に立ちたいと思います。今後ともご支援ご指導をお願いいたします。

(39) 途中の中断があったにも関わらず、あっという間の半年でした。

(40) 講師の先生や小木曾さん、神谷さん、スタッフの方々、塾生のみんなに前に進む力ややり方を教わり、とても充実した時間を過ごせて感謝の気持ちでいっぱいです。



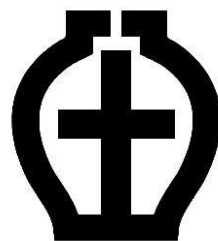
## 6. 受講後の感想(8) (卒塾時アンケート)



「コロナもあり、人との交流が少なくなる中、久しぶりに多くの仲間やつながりができたことがとても嬉しかったです。」

(自由記述アンケート 続き)

- (41) 私は参加日数が多くないにも関わらず、卒塾させて頂きありがとうございました。
- (42) 柴田先生に教わった「しつこく、コツコツと」をモットーに起業に向けて邁進していこうと思います。
- (43) 市の健康系の講座を検討される際はぜひお声かけくださいw
- (44) 多肉植物は、生活のための事業ではないので、これからの人生をこれだけに費やすことはできませんが、今まで通り、優先順位を決めて、のんびりやっています。
- (45) 健康第一で、10年後も背筋を伸ばして競技ダンスができるよう、日々の体力筋力アップ、その上で、周りの人のためになりたい。となると、植物ではなく、今後、健康ダンス、介護予防、健康寿命を伸ばす事業に変わるかもしれません。とにかく、楽しんで、人のためになれば・・・と思います。
- (46) しごと塾を通して、たくさんの人と出会い、刺激やチャンスをいただけた事に感謝します。ありがとうございました。
- (47) コロナ禍で事務局や講師の皆様は色々配慮が多く大変だったと思いますが、無事、しごと塾が開催され、卒塾できたことを本当にありがたく思っています。感謝しております。ありがとうございます。
- (48) 私の人生の方針のようなもののひとつに「世の中に必要な新しいことを、皆と一緒に、楽しみながらやる」というものがあります。しごと塾の仲間とは、まさにこれができそうに感じています。
- (49) 「つながり」のありがたさ、大事さ、面白さ、を改めて感じる機会にもなりました。
- (50) コロナもあり、人との交流が少なくなる中、久しぶりに多くの仲間やつながりができたことがとても嬉しかったです。
- (51) 事業計画発表会でも少し触れましたが、森のようちえんに絡めて、移住と起業を勧めることをしていきたいと思っています。瀬戸にはこれからの時代に必要なもの(自然、教育、文化、人の良さ、住心地)が揃っているように思います。
- (52) 起業(個人事業主、フリーランス)の生き方もこれからの時代に個人が幸せに生きるために必要とされるものと思います。ぜひとも、せと・しごと塾を永続的に続けてください。
- (53) 日本の幸福度ランキングは57位と低いですが、局所的に瀬戸市は幸福度が高い!といえるようにしたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





## 6. 受講後の感想(8) (卒塾時アンケート)



「しごと塾を通して、たくさんの人と出会い、刺激やチャンスをいただけた事に感謝します。ありがとうございました。」

以上、コメントを紹介しました。

コロナ禍のため予定変更やワークの方法の再考、懇親会の未開催もあり、本来の塾の良い部分を失ってしまった期となってしまいました。そんな困難な状況の中、同じ苦労を味わいながら学び合う同期生の存在がとても大きく、かけがえのない財産となったのではないのでしょうか。

せと・しごと塾では、塾生のみなさまに一つでも多くの挑戦をしていただきたいと考えております。みなさまが初めてのことや困難を伴うことに挑戦しようかどうか迷った時に、一歩前に踏み出していくような意識の転換を促すことができると考えております。一方で、挑戦する機会を奪うようなアドバイス、行動はできるだけ避けるよう意識しています。講師陣に依存する状況を作ってしまうと、起業家としての自立の妨げになります。

あと、女性の塾生が3分の2を占め、その中には子育て中の方も多くいらっしゃいます。子連れでも塾に参加できる雰囲気づくりを第1期より意識しています。講座でも個別相談でも、子供と一緒に参加する方が毎年いらっしゃいます。特に夏休みの時期は急増します。「子供と一緒にいっても良い」という安心感もまた、大事にしていきたい塾の財産です。



(卒塾式に、子供も一緒に卒塾証書を受け取った風景：第10期)



## 7. 新たな取り組みと課題(1)



### (1) 新しい取り組み

#### ①一部オンライン化の実施

コロナの影響で、2020年度はせと・しごと塾が開催中止となりました。それを踏まえて、「どうすれば開催可能となるか」を事務局で考えてきました。その答えが、対面講座実施の際の感染対策と、オンラインでの講座への移行可能性でした。オンライン講座開催の技術的なノウハウを身につけておけば、いざというときも予定を変更して実施することが可能です。事務局のみなさまが事前準備で膨大な数の機材と格闘することにより、無事第13期にオンライン講座を実施できました。発表会でも、出来る限り観覧者の来訪を減らすということで、塾生・事務局・コメンテーター・報道陣以外はオンラインという形となりました(発表会当日の貴重な塾生間のコミュニケーションが失われ、残念ですが)。



たび重なるリハーサル、当日の緊張感、本当に大変だったと思います。関係者のみなさま、おつかれさまでした。

#### ②「せと・創業くらぶ」開始

2021年度から、新たに創業を目指す人に情報提供を開始しました。瀬戸市ものづくり商業振興課より、月に1回、創業前後のみなさまに役立つ情報提供をしています。

現在のところ、登録されたメンバー同士の交流会などリアルな場でのイベントは行われていませんが、コロナが落ち着いた際には、少しずつ実現していくことを願っています。

#### ◆せと・創業くらぶ

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2021032500076/>

**登録料無料**  
せと・創業くらぶ  
メンバー募集!!

2021年スタート

「せと・創業くらぶ」とは? 創業に必要な知識やノウハウを身につけたい、ほかの創業者さんつながりたい、事業をもっと発展させたいなど、創業に関する悩みや課題の解決・創業者同士の交流の場としてご利用いただける登録制コミュニティです。

LINE公式アカウントにて登録情報を配信しています! せと・創業くらぶの登録後、案内をお送りします。ご希望の注目を登録してください。

**登録料無料** 創業前・創業中・創業後 創業前・創業中・創業後

**登録方法** ① 瀬戸市内で創業を予定している方 ② 瀬戸市内で既に創業して約10年未満の方 ③ 別の創業を行っている方が創業前5年以上経過している場合でもご登録いただけます。

**登録料の戻し** 創業前の方はインターネットにて申請。創業中の方は申請書にて申請。

**登録料の戻し** 創業前の方はインターネットにて申請。創業中の方は申請書にて申請。

**お問い合わせ** 瀬戸市ものづくり商業振興課 瀬戸市ものづくり商業振興課 電話 0561-88-2652 Email monosho@city.seto.lg.jp

## 7. 新たな取り組みと課題(2)



### (2) 課題

第13期を終えて、課題や改良を要する点も残されています。

#### ①コロナに負けない体制づくり

オンライン化により第13期を開催することはできましたが、完全オンライン化というのはまだまだ困難です。たとえば、塾生のみなさまが自宅でオンライン参加してグループワークや発表をしていただくことは実施できていません。来期以降、我々の予期せぬ事態が発生する可能性もあります。カリキュラムの効果を考えながら、オンライン化が困難な講座についても、万が一のケースを想定して準備をしておく必要がありそうです。

#### ②コミュニケーションの場の大幅な減少

従来は現役塾生と卒塾生が会える場であった発表会が、感染防止のために奪われてしまいました。また、懇親会も実施できず、交流の場が失われています。地元を中心にイベント出店をしている方は塾生のみなさまと会える場をもっているのですが、そうでない大半の方は、極端に交流の場が減ってしまいました。オンライン、SNSでの交流など、コミュニケーションを促進できるような取り組みが望まれます。

#### ③平日に参加出来ない人の問題

せと・しごと塾は平日昼間の開催です。仕事を休めないという方もいらっしゃるので、瀬戸商工会議所が実施する創業塾その他のセミナーで、平日夜間に参加出来るような場を提供しております。

2021年度から、先述の「せと・創業くらぶ」もスタートしました。

また、塾には通えないが、個別相談を継続的に利用する起業家もいます。今後も多様な受け皿を用意して、瀬戸で開業したいみなさまの創業支援を行っていきたいと思います。

#### ④塾生が、より考え、行動するようになるための工夫

創業支援における重要な、常に抱えている課題です。過度に支援者に依存しないような手法を考える必要があります。なるべく塾生が主体的に考え、行動するように促しています。小さな成功体験を積み重ねていただき、徐々に自立していくような働きかけをしていきたいと考えています。



## 8. 最後に (2022年度、第14期に向けて)

せと・しごと塾も開講以来13期が経過しました。私が第2期で塾長に就任して以来、事務局のみなさまと、カリキュラムや募集方法、テキストなど、どのように実施するのが最適か、試行錯誤を重ねてきました。第2期は「起業の50ステップ」の原型となるテキストの作成、第3期は「達成リスト」のトライアル、第5期ではミニ講座の実施など、塾生のみなさまが何を求めている、どんなことに刺激を受けて行動するか、探り続けました。目次と索引付きで260ページとなったテキストは、2020年以來の新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン対応出来るように、PowerPoint形式で横長、108ページと大幅にリニューアルしました。(今回も膨大な時間をかけて制作しています)。

第13期は、期中のスケジュール変更がありました。そのため参加が困難になってしまった方も数名出てしまい、残念に思っています。創業の話をするときに、よく「外部環境の変化」について触れますが、まさに数十年味わったことのない変化だったと言えます。業種によっては致命的なダメージを受けたことでしょう。これから創業しようとするみなさまは、この劇的な環境変化を目の前にして、それでも何とかして事業を立ち上げようと奮闘しています。そんなみなさまの想いを一つでも実現したいものです。

ただ、塾では「起業ありき」で塾生のみなさまと接しているわけではありません。これは第1期から変わりません。塾生の想いを実現するためには、「会社員」という選択肢が最適であることもあり得るという考えも持ちながら、日々ご相談を受けております。その上で事業計画に対する助言をしております。

事務局、講師陣、卒塾生、それに直接または間接的に支援して下さっているみなさまのご尽力により、せと・しごと塾を13期続けることができました。今後も地域、そして社会全体を元気にする人たちを発掘し、その人たちの力を引き出す環境づくりのお手伝いをしたいと思います。関係者のみなさまにおかれましては、引き続きご協力のほど、お願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の収束を心より願います。当たり前の日常が戻りますように。

2022年3月

せと・しごと塾 塾長

小坂 英雄

座学の日程

日	午前	午後
10/28 (木)	事業計画作成知識① (経営理念・事業領域・マーケティング)	事業計画作成知識① (経営理念・事業領域・マーケティング)
11/4 (木)	事業計画作成知識② (損益計画・資金計画)	グループワーク①
11/11 (木)	グループワーク②	グループワーク②
11/18 (木)	グループワーク③	発表・振り返り

午前 10:00-12:00 午後 13:00

## 9. 参考情報

1. せと・しごと塾の概要紹介(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/>

2. せと・しごと塾リーフレット(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/files/sigotojuku-leaflet.pdf>

3. せと・しごと塾10周年記念冊子(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/files/setoshigotozyuku10th.pdf>

4. 瀬戸信用金庫

<http://www.setoshin.co.jp/>

5. 瀬戸商工会議所

<http://www.setocci.or.jp/>

6. 日本政策金融公庫

<https://www.jfc.go.jp/>

7. 愛知県信用保証協会

<https://www.cgc-aichi.or.jp/>



### せと・しごと塾10周年記念冊子

この冊子は、約20名の塾生からなる「せと・しごと塾10周年記念ワーキンググループ」が企画から取材、編集まで行いました。カメラマン、コピーライター、デザイナーなどの塾生さんがそれぞれ得意とする技術を活かし、制作しました。

せと・しごと塾 第13期総括

2022年3月

作成 小坂 英雄 (せと・しごと塾 塾長/有限会社起業経営研究所 代表取締役)

協力 瀬戸市/瀬戸商工会議所/瀬戸信用金庫/卒業生・関係者のみなさま

©2006-2022 せと・しごと塾